

登録コード	E2902900	開講年度	2026					
授業科目	英語学Ⅱ					担当教員	田中 江扶	
英文授業名	English Linguistics II					副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限			対象学生
講義室	教育N301講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	母語習得の知見やAIの活用法を理解し応用できる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	言語学の知見を分かりやすく伝える力を養う。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本演習では、論文のコピーを課題として読んできて、内容に関するdiscussionを行う。 また、中学・高校の教科書で扱われている英文および文法事項の分析も行う。							
(5)授業計画	第1回：ガイダンス、言語理論について 第2回：Chomsky（GB理論） 第3回：Chomsky（Minimalist Program） 第4回：Jackendoff（lexicalConceptual Structure） 第5回：Jackendoff（言語モデル） 第6回：Goldberg（構文文法） 第7回：Levin（動詞意味論） 第8回：Grimshaw（項構造） 第9回：Dixon（機能論） 第10回：Bolinger（機能論） 第11回：Pinker（意味論） 第12回：Pinker（言語と認識） 第13回：Quirk（学校文法） 第14回：言語理論の変遷（ソシユールを中心に議論） 定期試験・アンケート							
(6)成績評価の方法	以下を総合して判定する。 ・最終試験（70%）、課題(論文のまとめ)（30%）※評価割合は若干の調整を行うことがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可							
(7)成績評価の基準	授業で扱った例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」							
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業で扱うテーマで議論をしてもらうため、毎回文献を調査してまとめてから授業に臨むこと。							
(9)履修上の注意	期末テストとして筆記試験を行う。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	基本的に平日の9時から18時に研究室(N230)にいます。 メールアドレス：kout@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	最初の授業の際に指示。適宜、論文を配布							
【参考文献】	畠山雄二 編 『ことばの本質に迫る理論言語学』 くろしお出版							